

## 新約聖書における 不定詞補文の主語

— 英語のEqui-VP deletion に関連して —

近 松 明 彦

本発表では、英語と新約聖書ギリシア語が2つのタイプの同一名詞句削除を共有することを主張する：即ち、主文の主語と同一的な名詞句の削除と主文の目的語と同一的な名詞句の削除である。

現代英語では母型文の何らかの辞項と同一的な補文主語が削除される（同一名詞句削除）。補文主語がそれと同一的である名詞句が主文の主語である場合と、目的語である場合とがあり得る。それ故、主文主語と同一的な補文主語が削除されている構文と、主文目的語と同一的な補文主語が削除されている構文とを区別することにした。前者は、like型あるいはtry型構文に由来する。後者はpersuade型構文に由来する。

コイナー・ギリシア語のInfinitive構文は、8個のタイプに分類される。これらのうち、母型文の構造に関して、ギリシア語のbo úlomai型とtolmáo:型の構文が、英語のlike型並びにtry型のタイプに対応する。ギリシア語のanagkázō:型及びparakaléo:型構文が英語のpersuade型構文に対応する。従って、bo úlomai及びtolmáo:型の構文が主文目的語と同一的な、削除された補文主語を持ち、anagkázō:及びparakaléo:型の構文が主文主語と同一的な削除された補文主語を持つものと予想される。

「マルコ伝」をコーパスとする調査によると、主文の主語ないし目的語と同一的な補文主語の削除に関して、ギリシア語のbo úlomai型・tolmáo:型の構文が英語のlike型・try型構文に対応し、anagkázō:型・parakaléo:型の構文がpersuade型の構文に対応することが判明し、上の予想が実証された。